

平成 25 年 2 月 5 日

保護者の皆さまへ

世田谷区立船橋希望中学校
学校関係者評価委員会

平成 24 年度学校関係者評価結果報告書について

学校関係者評価委員会において、「学校評価システム」に基づき、関係者アンケート調査の結果の分析や自己評価の結果及び授業等の観察などをもとに総合的な評価を行いました。

その評価結果につきましては、3 月下旬にホームページに掲載されます報告書をお読みいただければ幸いです。また、報告書の詳細につきましては、学校で閲覧することができますので、来校した折にお読みください。

なお、総合所見は以下のとおりです。

【学校関係者評価委員会の総合所見】

統合 1 年目で、生徒・保護者ともに様々な不安を抱えたままのスタートであったと思われる。しかし、教職員の教育活動での様々な取り組みと努力により、生徒・保護者ともに「評価が高い項目」が多く、全般的には成果が上がった 1 年である。

特に、生徒は、学校生活の基盤となる学習指導、生活指導、学校行事、部活動のほとんどの項目で、前年度の船橋中学校・希望丘中学校の調査を上回る結果であった。これは、新校の取り組みの中で不安が払拭できただけでなく、統合での生徒数増による様々な活動で、生徒同士が協力し合いながら切磋琢磨した結果であると考えられる。

保護者も全般的には生徒と同様であるが、前年度の調査結果を下回る結果もいくつかの項目であり、統合に対する不安や不満が払拭されていないことが散見される。また、「分からない」との割合が多い項目もあり、保護者には必要な情報を的確に提供するなど、丁寧な広報が必要と思われる。特に、評価委員会は、学校全体にかかわる情報を広報する必要性を感じているので検討されたい。

「課題がある項目」は、生徒・保護者ともに進路指導である。進路指導＝キャリア教育のことが理解されるよう年間指導計画や情報提供の改善が望まれる。また、教職員の評価との乖離がある項目についても、生徒の変容などを捉えて自己点検をする必要性を感じる。

それとともに、生徒・保護者ともに、1 年生で「課題がある項目」が散見されている。1 年生の指導の充実と保護者への丁寧な働きかけについて、学校として検討されたい。

地域については、全般的に「評価が高い項目」が多い。統合により学区域が広がったこともあり、今後は広報の充実を期待したい。

今年度は統合 1 年目であるが、全般的に大きな問題もなく、正常な教育活動がなされ、生徒・保護者・地域の評価も概ね良好である。教職員の真摯な努力があってこそその結果であると思います。今後も生徒の成長に一層のご尽力を期待します。